

澁谷工業（6340）

担当 織田真由美

レーティング：NEUTRAL（2024/9/4）→ **NEUTRAL**

- ※ ボトリングシステムで国内トップ。無菌技術に強み
- ※ 上期好調、最高益更新視野に
- ※ 足もとの受注低迷で来期業績は踊り場か

	売上高 (百万円)	伸び率 (%)	営業利益 (百万円)	伸び率 (%)	経常利益 (百万円)	伸び率 (%)	純利益 (百万円)	伸び率 (%)	EPS (円)	1株配 (円)
連 21/6	103,965	+0.3	12,700	+35.6	12,952	+35.5	8,826	+36.4	319.02	70.00
連 22/6	96,223	-7.4	13,402	+5.5	13,701	+5.8	9,262	+4.9	334.79	70.00
連 23/6	97,842	+1.7	8,039	-40.0	8,171	-40.4	5,928	-36.0	214.29	70.00
連 24/6	115,434	+18.0	13,382	+66.5	13,559	+65.9	9,781	+65.0	353.54	90.00
連 25/6(会社予)	127,000	+10.0	12,600	-5.8	12,800	-5.6	9,200	-5.9	332.53	90.00
連 25/6(今村予)	127,000	+10.0	13,600	+1.6	13,800	+1.8	9,800	+0.2	354.00	90.00
第2四半期累計期間										
連 23/7-12	51,393	+17.8	4,882	+84.0	4,823	+84.2	3,409	+69.7	123.23	30.00
連 24/7-12	62,508	+21.6	7,373	+51.0	7,384	+53.1	5,100	+49.6	184.36	45.00
株価(2025/3/10)			3,260	円						
発行済み株式数(24/12末)			28,149	千株						
自己株式数(24/12末)			483	千株						
時価総額			91,768	百万円						
企業価値(EV)			54,305	百万円						
ROE(24/6実績)			10.2	%						
予想配当利回り(25/6今村予)			2.7	%						
予想PER(25/6今村予)			9.2	倍						
BPS(24/12実績)			3,788.99	円						
PBR			0.9	倍						
CFPS(24/6実績)			377.0	円						
PCFR			8.6	倍						
EV/EBITDA(24/6実績)			3.4	倍						



6340 JT Equity (澁谷工業) chartw 週足 05MAR2022-10MAR2025 Copyright © 2025 Bloomberg Finance L.P. 10-Mar-2025 16:47:10

株価チャート(週足)

出所：澁谷工業、ブルームバーグ、今村証券

※ 会社概要…ボトリングシステムで国内トップ

ボトリングシステムで国内トップ。飲料用の無菌充填システムでは国内シェア 80~90%とみられる。アジアや北米を中心に海外売上が拡大しており、海外売上高は 4 割に迫る。

パッケージプラント事業は食品や薬品・化粧品などの業界向けが中心で、安定した需要があることや定期的なメンテナンスが必要なことが収益に寄与している。

※ 業績…上期好調

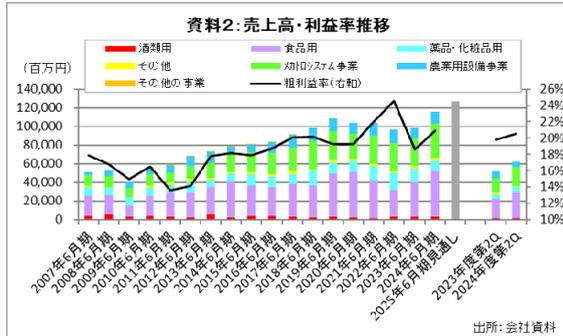
2025年6月期第2四半期連結業績は増収増益。農業用設備事業が減収減益となったものの、パッケージプラント事業において飲料用無菌充填ラインや注射薬バイアル充填ライン、化粧品充

資料1：セグメント別売上高・利益

	2023年7~12月期			2024年7~12月期					
	受注高 百万円	売上高 百万円	利益 百万円	受注高 百万円	前年同期比 %	売上高 百万円	前年同期比 %	利益 百万円	前年同期比 %
パッケージングプラント事業	44,173	28,417	3,982	33,540	(▲ 24.1)	36,041	(+26.8)	6,123	(+53.8)
うち食品用	34,934	21,121	-	22,131	(▲ 36.6)	27,531	(+30.3)	-	-
うち薬品・化粧品用	6,354	4,771	-	7,648	(+20.4)	6,162	(+29.2)	-	-
メカトロシステム事業	17,752	16,377	1,073	19,109	(+7.6)	20,310	(+24.0)	1,510	(+40.7)
農業用設備事業	3,627	6,598	873	3,642	(+0.4)	6,155	(▲ 6.7)	869	(▲ 0.4)

填ラインが増加したほか、メカトロシステム事業で医療機器や半導体製造システムが拡大したことが寄与した（資料1参照）。

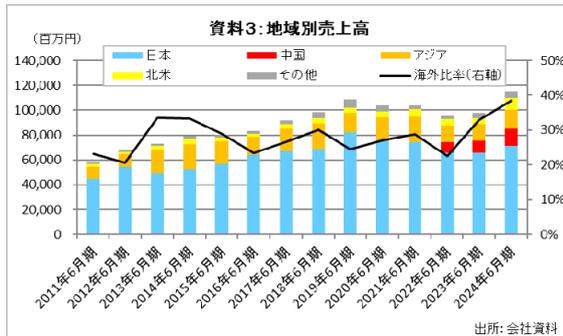
通期業績予想に対する上期営業利益の進捗率は58.5%と高く、期初の想定を上回った印象があるが、会社は通期予想を据え置いている。下期は製品に組み込まれる他社製品の割合が増加することで原価率が上昇すると見込まれることが要因だ。とはいえ下期の粗利益率を18%程度と想定しても営業利益は会社予想を10億円程度上ぶれそうだ。今村証券では営業利益136億円、経常利益138億円、純利益98億円と各利益において過去最高益更新が視野に入ると考える。



※ 強み

強みは技術力、イノベーション創出力、きめ細やかなサポート体制だ。創業以来のボトリング技術をコアにM&Aを通じて技術を蓄積、培ったロボット制御技術や無菌化技術、レーザ技術などによって事業領域を拡大してきた。主力のパッケージングプラント事業では高度な無菌操作が特長で、乳飲料や茶系飲料などの低酸性飲料の充填において大きな優位を誇っている。無菌化技術は再生医療システムにつながっており、細胞培養アイソレータや自動培養装置、バイオ3Dプリンターなど豊富な品揃えが強みとなっている。

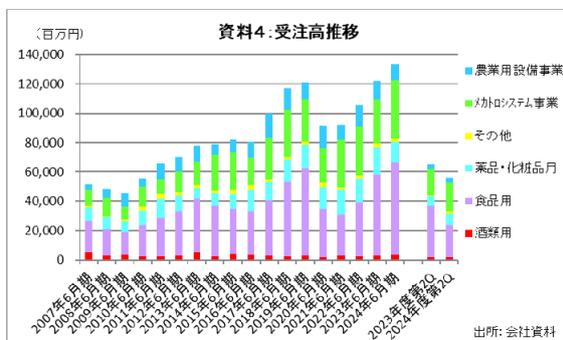
メカトロシステム事業ではニプロ向けに人工透析装置のOEM生産を行っている。ニプロ向け売上高は前期に200億円を突破、今後も需要増加が見込まれる。また、半導体製造装置にも注力しており、2023年にはパワー半導体製造装置メーカーの綜和機電株式会社を子会社化した。



無菌化技術など高い技術力を背景にした新規需要・更新需要の取り込みに加え、イノベーションによる新事業、海外展開拡大が同社の中長期的な成長につながることを期待される。

※ 業績予想と投資判断

今期業績は最高益更新が視野に入る一方、来期業績についてはやや不透明感が強まっている。足元の受注が低迷していることが要因だ。好調だった前期の反動で上期の受注高は前年同期比14.1%減の562億92百万円にとどまった（資料4参照）。高水準の受注残高（2024年12月末時点956億14百万円）が支えとなるため、業績が大きく落ち込むことはないと考え来期業績は横ばい程度を想定するが、受注の低迷が長期化すれば先行き不透明感が強まろう。受注動向に注意したい。



中長期的な成長は期待されるものの、受注低迷が懸念材料だ。投資判断はNEUTRALを継続する。

アナリストによる証明

本資料に示された見解は、言及されている発行会社とその発行会社等の有価証券について、各アナリストの個人的見解を正確に反映しており、さらに、アナリストは本資料に特定の推奨または見解を掲載したことに対して、いかなる報酬も受け取っておらず、今後も受け取らないことを認めます。

レーティングの定義

OUTPERFORM: 今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンを10%超上回ると予想される。

NEUTRAL: 今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンの+10%と-10%の間に入ると予想される。

UNDERPERFORM: 今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンを10%超下回ると予想される。

トータルリターン: 株価変動率+配当利回り

目標株価は12ヶ月間の投資を想定しており、将来発行されるレポートで修正されることもあります。

本資料に記載された意見及び予想は、記載された日付における今村証券の判断であり、これらは予告なく変更される場合があります。今村証券は本資料の記載された日付以降に内容の変更・修正を行う義務を負いません。本資料はお客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券売買に関する申込または勧誘を意図するものではなく、お客様に対して投資の助言を提供するものでもありません。また、本資料に記載されている情報もしくは分析がお客様にとって適切であると表明するものでもありません。投資に関する最終決定はあくまでもお客様ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。

本資料に記載された内容は、信頼できると思われる情報、または信頼できる情報源から得た情報を基に今村証券が作成しておりますが、機械作業上データに誤りが発生する可能性があります。当社はその内容の正確性及び妥当性、適時性または完全性を保証するものではありませんし、本資料における過誤又は遺漏に対して何らの責任を負うものでもありません。本資料でインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、当社自身のアドレスが記載されている場合を除き、アドレス等の内容について当社は一切責任を負いません。本資料は、当然にお客様の投資結果を保証するものではありませんので、今村証券は、本資料の内容について第三者のいかなる損害賠償の責任を負うものでもありませんし、お客様が本資料に依拠した結果としてお客様が被った損害または損失については一切責任を負いません。また、今村証券は本資料に関するお客様からのご質問やご意見に対して、何ら対応する責任を負うものではありません。

当社および関係会社の役員は、本資料に記載された証券について、ポジションを保有している場合があります。当社および関係会社は、本資料に記載された証券、同証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買または売りのポジションを有している場合があります。今後自己勘定で売買を行うことがあります。また、当社および関係会社は、本資料に記載された会社に対して、引受等の投資銀行業務、その他サービスを提供し、かつ同サービスの勧誘を行う場合があります。

日本および外国の株式・債券への投資は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより、投資元本を割り込むリスクがあります。

本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されております。当社の事前の承認なく、また電子的・機械的な方法を問わず、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

今村証券の営業サービスネットワーク

本 店 : 076-263-5111	高岡支店 : 0766-26-1770
小松支店 : 0761-23-1525	砺波支店 : 0763-33-2131
弥生支店 : 076-242-2122	福井支店 : 0776-22-6644
加賀支店 : 0761-73-3133	板垣支店 : 0776-34-6996
七尾支店 : 0767-52-3122	敦賀支店 : 0770-25-3387
富山支店 : 076-432-2131	

株式、債券、投資信託の手数料等およびリスクについて

- 国内株式等の売買取引には、約定金額に対して最大 1.201750% (税込) (1.201750% に相当する金額が 2,612 円未満の場合は 2,612 円 (税込)) の委託手数料をご負担いただきます。
- 国内株式等を募集等によりご購入いただく場合は購入対価のみのお支払いとなります。
- 国内株式等は、株価など売買価格の変動により損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式 (外国 ETF、外国預託証券を含む) の外国金融商品市場等における委託取引にあたっては、売買金額 (約定金額に外国金融商品市場における手数料と税金等を購入の場合には加え、売却の場合は差し引いた額) に対し、最大 0.990% (税込) の国内取次手数料をいただきます。外国金融商品市場での取引にかかる手数料、税金等は国 (市場) により異なります。
- 外国株式の国内店頭取引にあたっては、取引価格に取引の実行に必要なコストが含まれているため、別途手数料は必要ありません。
- 外国株式 (外国 ETF、外国預託証券を含む) の売買、配当金等の受取り等にあたり、円貨と外貨を交換する際は、外国為替市場の動向をふまえて今村証券が決定した為替レートを用います。
- 債券を募集・売出し等によってご購入いただく場合は、購入対価のみのお支払いとなります。
- 債券は、市場の金利水準の変動等により債券の価格が変動しますので、損失が生じるおそれがあります。さらに外国債券は、為替相場の変動等により元本損失を生じる場合があります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本損失を生じる場合があります。
- 投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資 1 単位当りの価値が変動します。したがって、お客さまのご投資された金額を下回ることもあります。
- 投資信託にご投資いただくお客様には、銘柄毎に設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費等をご負担いただきます。
- 株式、債券および投資信託のリスクにつきましては、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読みください。

今村証券株式会社

金融商品取引業者 北陸財務局長 (金商) 第 3 号

日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会加入

e_suishin_202412